

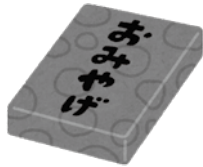
議会報告「市民との意見交換会」

平成30年4月13日に加西市観光まちづくり協会観光研究会、加西市歴史街道ボランティアガイドと4月25日には加西病院サポーターの会と議会報告並びに意見交換会を行いました。そこで述べられたご意見の一部を紹介します。

加西市観光まちづくり協会 観光研究会

加西市歴史街道 ボランティアガイド

- 食事処などが少なく、立地誘導をしてはどうか。もっと計画的にまちづくりを進める必要がある。(代表的な土産が紹介できない。観光客が食事や土産でお金を使うところがない。)
- 観光には経済効果があり、市の知名度は観光で決まるのではないか。
- 市民意識の向上を図り、郷土愛を育てる必要があるのではないか。
- 鶉野飛行場のことを最近知った。市民にPRが必要でもっと情報発信して欲しい。
- みんなが市内の良いところを知ることが大切ではないか。都会との繋がりを強化して発展させることも必要だと思う。
- 鶉野は戦争遺産だけでなく、平和利用にも活用する必要があると思う。
- 地域住民が愛着や誇りを持つことが必要である。



- 地域おこし協力隊は有効である(空気が変わる)。
- 観光とまちづくりを一体で行う必要がある。
- 高校までは加西の魅力を感じなかった。各ふるさと創生会議の取り組みを点から線へ、線から面へと広げていきたい。

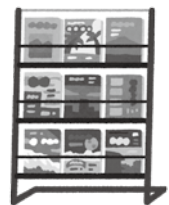
- 若者も市に帰って頑張りたいと思っている人もあり、若者に目を向けて、市としての取り組みを進めてほしい。



- 昨年、観光まちづくり協会が主催して全国から40名を超える産業遺産コーディネーターが来市して、鶉野飛行場跡地を産業遺産の観点から検討した。移動手段の確保が重要で、私どもがバスを確保して料金を取ることは法的にできない。旅行業者であれば有料でバスを手配できるが民間ではできない。加西市が主催したツアーで市のバスを使えば法律に抵触しないが、費用負担の問題がある。観光まちづくり協会が資格を取って行う方法もあるが、採算性については難しいのではないか。



- また、現状の観光案内所にさらなる情報発信をお願いするのは難しいのではないか。
- 道の駅があればよいのではないか。
- トイレのないところがある。ハイキングコースにも必要ではないか。
- ついでに寄る観光客が多い。PR不足ではないか。
- 議会も行事参加などでPRに努めてほしい。
- 市がバスを確保して観光を推進したら、ボランティアのやりがいもふえる。
- 鶉野飛行場跡地の案内で、情報不足のため説明できない。もっと具体的な計画を知らせてほしい。
- 「鶉野」は、振り仮名が必要ではないか。また、看板が少ないのでしっかりした物を設置してほしい。



- 他県から移住したが、加西は自然環境がよくて歴史もあって素晴らしい地域である。地元の人がよく思っていないのが問題ではないか。



- 鶉野飛行場跡地の資料館への交通の便を考えてほしい。
- ボランティアガイドも高齢化が進んでおり、養成のために財政支援をお願いしたい。

